

# 1年道徳通信

第18号

## 第18回『僕たちの未来』



第18回目の道徳では、ボランティア活動に「なんとなく」参加した僕が、その活動を長年続けている浜井さんに出会い、その活動の意義や歴史、そして浜井さんの思いにふれ、活動に対する意欲をもち、積極的に活動し、自分がやっていることに充実感を感じるようになった姿から、「自分たちの社会をよりよくしていくために大切なこと」について考えました。ボランティア活動とは、一体誰のための活動なのか、何のための活動なのか。社会に貢献することの意義とは何か…。みんな、とても真剣に考えていました。

### みんなの意見

#### 自分たちの社会をよりよくしていくために大切なことは？

- 自分の利益だけでなく、人のことを考えてすること。
- みんなが住んでいて、住みやすいように一人がするのではなく、みんなですること。
- 自分が得しないからしないではなく、みんなが得になるようにすること。
- ボランティアなどにすすんで参加することや、「自分たちがした行動が未来で役立つといい」とがんばる気持ちや考え。
- 地域のことに興味を持って、みんなのことを考えて行動すること。
- 自分にプラスにならないことでも、他人のために頑張ろうとすること。
- 見返りなどを求めずに、自分のため、地域のためだと思って積極的に行うこと。
- 地域のことに興味関心をもち、今自分自身にできることを精一杯がんばる。
- みんなが幸せになれるための活動（小さな活動・自分ができること）をしたりすること。
- 少しでも人の役に立てるようにがんばろうという気持ち。

**誰のため？何のため？**

**社会の一員としてできる何かがある。**